

平成25年6月教育委員会会議（定例会）会議録

- 1 日 時 平成25年6月19日（水）午後2時00分～午後2時57分
- 2 場 所 所沢市立教育センター1階 第一研修室
- 3 出席者〔委員〕富田常世委員長、京谷圭子委員長職務代理者、吉本理委員、中川奈緒美委員、内藤隆行委員、佐藤徳一教育長

〔事務局〕平野澄彦教育総務部長、川音孝夫学校教育部長、斉藤雅裕教育総務部次長、齋藤敏男学校教育部次長兼学校教育課長、北健志教育総務担当参事兼教育総務課長、北田賢司教育施設担当参事兼教育施設課長、横須賀邦子教育センター担当参事兼教育センター所長、内堀耕介スポーツ振興課長、富田一成文化財保護課長、比留間嘉浩生涯学習推進センター所長、岸企子所沢図書館長、師岡林保健給食課長、市川雅美教育総務課主幹兼教育企画室長、沼田芳行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、岡田雅彦教育総務課主査、原初恵社会教育課主査、杉本恵美保健給食課主査

〔書記〕鈴木明彦教育総務課副主幹、青木穂高教育総務課主任

- 4 前回会議録の承認
- 5 会議の傍聴者 なし
- 6 開 会 本日の議案は、議案第5号から議案第6号の2件。
- 7 議 題

議案第5号 所沢市公民館運営審議会委員の委嘱について
資料に則り、原社会教育課主査から説明がなされた。

以下、質疑。

（内藤委員）

所沢市立公民館設置及び管理条例では、家庭教育の向上に資する者を委員に入れるとのことですが、提出された名簿ではどの方が該当しますか。

（原社会教育課主査）

名簿は、家庭教育の関係者を記載しておりませんが、条例では家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から委嘱すると

されており、教育学を専門とされている学識経験者の2名を家庭教育の向上に資する活動を伺うものとして選出したものです。

(富田委員長)

以前は、各地区ごとに公民館運営審議会がありました。現在は各地区の代表者が委員に選出されているということですか。

(原社会教育課主査)

そのとおりです。全地区に公民館運営審議会を置かなくても良いということになり、所沢市として15名を選出し、その中に各地区の代表者を選出しています。

(吉本委員)

地区ごとに公民館運営審議会を置いていた時に、PTAの代表者が委員に含まれていたと思いますが、現在の審議会では保護者代表としての委員選出はされていないのでしょうか。

(原社会教育課主査)

市として委員を選出するようになってからは、PTA代表という枠はございませんが、PTAや学校、サークルなどの代表者で各地区ごとに構成されている企画運営委員会の代表者が、市の公民館運営審議会委員に選出されているため、PTA等保護者の意見も取り入れられている形になっています。

(斉藤教育総務部次長)

補足ですが、今回選出される委員の中には、元PTA会長の方もいらっしゃいます。

(吉本委員)

委員の年齢構成を教えてください。

(原社会教育課主査)

年代としては、30歳代から70歳代までの方が委員となっております。30歳代の方は1名、40歳代は2名、50歳代4名、60歳代4名、70歳代4名となっております。

富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第6号 所沢市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
資料に則り、師岡保健給食課長から説明がなされた。

以下、質疑。

(中川委員)

PTA関係者が3名いるようですが、途中で会長の任を解かれた場合はどのようなのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

その場合には、新たに委員を委嘱することになります。

(京谷委員長職務代理者)

市民公募者というのは、希望者ですか。それとも、選考しているのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

広報を通じて公募しております。

(京谷委員長職務代理者)

応募者数が多い場合は、どうなりますか。

(師岡保健給食課長)

抽選になります。

(富田委員長)

知識経験者はどういう基準で選考していますか。

(師岡保健給食課長)

特に基準はありません。今回委嘱する知識経験者3名のうち、元校長が2名、栄養士の経験がある方が1名となっています。

(中川委員)

学校給食センター運営委員会というのは、給食の全体的な方針を決めるというものなのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

そのとおりです。運営に関する様々なご意見をいただいております。会議では、現年度や新年度の運営概要を説明してご意見をいただいたり、その年の決算報告等をしています。

(中川委員)

食材の産地の選択なども行なっているのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

そのとおりです。地場産の取り組みに関しても、ご意見をいただいております。

(富田委員長)

親子方式についても、ご意見をいただいているのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

昨年の運営委員会でご意見をいただき、それをもとに現在、検討しているところです。

(富田委員長)

そこではどのような意見がありましたか。

(師岡保健給食課長)

親子方式は自校給食に近いものであり、食育の観点からすれば、子どもた

ちにとっては大変良いことだというご意見をいただいております。

(佐藤教育長)

この運営委員会の女性委員の比率は、かなり高いものになっていますが、審議会の女性委員の望ましい比率というものはあるのでしょうか。

(平野教育総務部長)

基本的には3割以上女性委員を委嘱することが、市全体の流れとなっています。その比率を満たすことができるよう努力はしておりますが、選出母体に推薦をお願いすると代表の方が男性多く、なかなかこちらの思いどおりにならない場合もあるのが現状です。

(佐藤教育長)

教育委員会は新しいことに取り組むべきところであると思うので、3割といわずもっと多くの女性の方に委員になっていただければと思います。

(吉本委員)

この運営委員会の会議は、年に何回開催されるのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

概ね、1, 2回開催しています。

(富田委員長)

この会議とは別に、センター給食の試食会が夏にあったと思いますが、今でも行なっていますか。

(師岡保健給食課長)

親子料理教室という別のことで、委員は関わっています。

(中川委員)

富田委員長がおっしゃった内容は、おそらく食材の選定委員のことかと思いますが、私がPTA会長であった時に年に1回給食センターに行って、試食と食材の選定をしていたことがあります。それは、この運営委員会とは別に行なっているのでしょうか。

(師岡保健給食課長)

そのとおりです。食材を選ぶ見本審査というものがあり、その時にはPTAの代表として関わっていただき、食材を選んでいただいております。これは、この運営委員会とは別に行なわれます。

富田委員長の採決により、出席委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項 平成26年度所沢市第二幼稚園園児募集について

資料に則り、齋藤学校教育部次長から説明がなされた。

以下、質疑。

(京谷委員長職務代理者)

保育料が私立の幼稚園に比べるとかなり安いように思いますが、私立幼稚園の保育料はどのぐらいなのでしょう。

(齋藤学校教育部次長)

市立幼稚園については、入園料は無く、保育料は月額 9,500 円となっております。それに対し私立幼稚園は、入園料が 5 万円から 8 万円、保育料については 22,000 円から 30,000 円程度となっております。

(吉本委員)

それは、市や県の補助金を入れた金額ですか。それとも、保護者が負担する金額ですか。

(北教育総務担当参事)

保護者が負担する金額です。

(中川委員)

私立幼稚園と比較して、市立幼稚園は保育料がかなり安くなっているにもかかわらず、入園者数が減っているのはなぜなのでしょう。

(齋藤学校教育部次長)

共働き世帯が増加し、園児の送迎をするのが難しい家庭が多くなったことが、最大の理由であると思います。

(内藤委員)

平成 21 年の幼稚園運営協議会の答申を受けて慎重に検討した結果、所沢幼稚園は廃園となったと思いますが、所沢第二幼稚園については当面運営していくという考えでよろしいでしょうか。

(齋藤学校教育部次長)

答申については、三つございます。

一点目は二園を廃止することが論理的には望ましいが、廃園の実施時期については、園の状況の最適タイミングを捉えるべきであるということです。これを踏まえて、二点目は行政の財政的な余裕がある場合には、当面一園は存続させて様子を見るというものであり、所沢第二幼稚園が存続ということになっています。

三点目は財政投入限度を意識した段階では、行政の責任において第二幼稚園も廃園するのが望ましいというものです。付帯条件として、全市的幼児教育サービス機関として「幼児教育研究センター」を設立すること、子ども年齢に対応できる行政窓口を設置することなど、全部で 7 項目あります。今後の方向については公的な幼稚園廃止後も、市内私立の幼稚園教育レベルの一定の水準を期待するために、第三者評価的なものを入れていくような公的な機関としての役目も必要であろうというような考え方です。

この答申において、公立幼稚園としての意味がある程度終わりになって、

私立幼稚園の民間委託に任すことが望ましいのではないかということで、答申が行なわれているということだと思います。そういう中で所沢幼稚園については平成22年度で廃園になり、所沢第二幼稚園については、平成23年1月に保育室3室をプレハブで開設し、昨年9月にプレハブの保育室1室を開設し、そのリース期間が平成29年8月31日までということを考えますと、来年度の年長クラスは1クラスであり、来年度の募集数70名に対し実際の入園者数が1クラスとなった場合には、平成27年度募集の段階で廃園の方向についても教育委員会で検討していただきながら、答申に見合った方向で考えていくことが望ましいと思っています。

(京谷委員長職務代理者)

所沢第二幼稚園は郊外にあり、園児が歩いて25分以内の範囲の地域しか入園できないのであれば、園児が減っていくのも仕方がないと思います。第二幼稚園の運営にかかる経費を、私立の幼稚園に分配した方が平等であると思います。

(齋藤学校教育部次長)

公平性ということでは、答申の中でも論点として出されておりますので、経過を見ながら所沢第二幼稚園についての経費については、今後検討していく余地は十分あると思います。

(中川委員)

募集要項に抽選について書かれていますが、ここ数年定員割れをしている状況を見ると、応募者全員が入園しているのでしょうか。

(齋藤学校教育部次長)

中川委員のおっしゃるとおり、ここ数年定員割れをしている状況ですが、入園は親子面接の結果も踏まえて決定しています。

(内藤委員)

幼稚園運営協議会は、現時点でも設置されていますか。

(北教育総務担当参事)

現在は設置されていません。

(内藤委員)

公立の幼稚園ということで、障害のある園児の支援や幼児教育研究センターとしての役割を期待する声もあると思いますが、実際に障害児支援の実績はどうでしょうか。

(齋藤学校教育部次長)

第二幼稚園長との会議において、手のかかる園児は何名かいるので、その園児には個別的に付き添って面倒を見ていかないと大変な状態であるという話は、園長から聞いています。

9 報告事項

所沢市教育委員会後援等名義使用許可について（教育総務課）

所沢市教育委員会の6月から9月までの主な行事予定について（教育総務課）

教育委員会の事務事業に関する点検評価について（教育総務課）

北野公園市民プールの開設について（スポーツ振興課）

所沢市指定文化財の指定解除について（文化財保護課）

第2次所沢市子どもの読書活動推進計画の策定について（所沢図書館）

質疑は特になし。

- ・ 教育委員会7月定例会：7月24日（水）午後3時00分～ 602会議室
- ・ 教育委員会8月定例会：8月28日（水）午後1時30分～ 602会議室
- ・ 教育委員会7月臨時会：7月10日（水）午前9時30分～ 602会議室

11 閉会 午後2時57分